

令和2年度外部評価資料

担当部課

くらし文化部安心安全課

番号	31	事業名	消防団運営事業
----	----	-----	---------

選 定 意 図	団員の減少が顕著であり、充足率は県内でも低い状況である。消火栓等の管理を含めた初期消火時の対応、地域との協力体制について委員の意見を伺いたい。
------------------	---

事 業 概 要	昭和22年に公設自治消防組織として設立され、以降長久手市の消防防災の一翼を担っている消防団の運営を支援している。 消防団は、旧上郷村、岩作村、長湫村を基に3分団で組織され、地域防災力の中核を担う消防団として、装備の充実を図りつつ、知識技術の向上のため研修訓練を実施している。 また、消防団員の減少もあり、消防団OBを中心とした大規模災害時に消防団活動を支援する機能別消防団員を採用した。
------------------	---

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・団員の減少が顕著であり、新規入団者が少ない。 ・消火栓、消防水利を含めた初期消火時の対応等に課題がある。
--------	--

課 題 に 対 する 担 当 課 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の減少は、全国的な課題であり、国の施策に同調して消防団員加入促進を行う。 ・将来の消防団員の担い手育成を目的に、キッズ消防団を設立し活動している。 ・私有地に設置する初期消火用消火栓の維持管理は、地域自治会等と協力して進めていく。 ・初期消火用消火栓は、使用するための訓練の難しさや実際の使用の難しさを考慮すると他の手法への変換時期に来ている。
---	--

課 題 に 対 する 行 革 担 当 課 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の減少に歯止めが掛かるように先進事例等を研究・検討されたい。 ・西小校区で40ミリ消火栓を使用した訓練を行い初期消火を地域で行えるような取組を始めている事例があるため、その事例を参考に今後の初期消火等について、地域との連携を強化されたい。
---	---

バ ッ ク デ ー タ	<p>決算額28,474,490円(消防団事務事業6,935,037円、消防団活性化事業3,769,486円、自動車管理事業2,532,640円、消防団手当15,237,327円)</p> <p>団員数の推移: R2-125人、R1-131人、H30-125人、H29-121人、H28-128人…H23-139人 条例定数160人(H30.7～。それ以前は193人)</p> <p>65ミリ消火栓382か所、40ミリ消火栓(初期消火用)155か所(R2.4.1時点)</p> <p>※65ミリ・40ミリは口径の大きさ。65ミリ消火栓は、消防隊専用のもの。消火栓の位置は、別添地図のとおり。</p>
----------------------------	--